

平成 21 年 11 月 18 日

各 位

東京都港区赤坂一丁目11番44号
株式会社リサ・パートナーズ
代表取締役社長 井無田 敦
(コード番号：8924 東証1部)
問合せ先 執行役員経営戦略部長 石館 幸治
電話番号 03 (5573) 8011 (代表)

ダイレックス株式会社の株式に関する株式譲渡契約締結 及び子会社の異動に関するお知らせ

当社は、本日、以下のとおり当社が運営管理する企業投資ファンドが保有するダイレックス株式会社（非上場。以下「ダイレックス」又は「対象者」といいます。）株式及び当社が公開買付けによる取得するダイレックス株式につき、株式会社サンドラッグ（以下「サンドラッグ」といいます。）との間で株式譲渡契約を締結することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

当社は国内企業の株式等へ投資するファンドであるリサ・コーポレート・ソリューション・ファンド投資事業有限責任組合（以下「1号ファンド」又は「RCSF」といいます。）およびリサ・コーポレート・ソリューション・ファンド2号投資事業有限責任組合（以下「2号ファンド」といいます。）を運営管理しており、1号ファンドと2号ファンドの投資コミット総額は435.75億円に達しております。

今般、1号ファンドの投資の出口として、1号ファンドが保有するダイレックスの株式をサンドラッグに譲渡すること（以下「本件株式譲渡」といいます。）を決定いたしました。

本件株式譲渡に際して、サンドラッグとの協議のうえ、RCSF以外の個人株主（ダイレックスの役職員等）が保有するダイレックス株式を当社が一旦取得し、当社とRCSFが合わせてダイレックスを100%子会社化し、そのうえで、当社とRCSFが保有するダイレックス株式100%をサンドラッグに譲渡いたします。当社はRCSF以外の個人株主が保有するダイレックス株式を取得するために公開買付けを実施いたします。（詳細は、本日公表しておりますプレスリリース「ダイレックス株式会社の株式に対する公開買付けの開始に関するお知らせ」を参照ください。）

当社は、RCSFの運営管理者として、ダイレックスの経営陣と同社の今後の経営戦略につき協議をしておりましたが、ダイレックスの更なる企業価値向上のためには、事業会社との戦略的な提携が必要であるとの認識に至りました。経営陣と協議のうえ、ダイレックス株式の譲渡先の選定プロセス（以下「提携先選定プロセス」といいます。）を実施し、複数の提案の中から、

サンドラッグの提案が最も優れており、当社、R C S F 及びダイレックスの経営陣と協議のうえ、サンドラッグへR C S F が保有する株式を譲渡することが、ダイレックス及びR C S F、ひいては当社にとってもメリットのあるものとの判断に至り、今回の株式譲渡を決定いたしました。

サンドラッグとの譲渡条件として、R C S F 以外の個人株主が保有する株式を買い集めてから一括して譲渡することになり、当社が公開買付けにてR C S F 以外の個人株主が保有するダイレックスの株式全部を取得することになりました。当社は本件譲渡が成立することで、R C S F への出資者及び運営管理者として利益を享受することができます。

今回の株式譲渡により、1号ファンドの投資の出口は2件目となりますが、今後も引き続き、投資先の企業価値の向上に取り組みながら最適な投資の出口を目指してまいります。

1. 本件株式譲渡の目的

ダイレックスは、平成19年11月にマネジメント・バイアウト（MBO）の一環として、公開買付けによりサンクスジャパン株式会社（以下「サンクスジャパン」といいます。）の株式を取得し、サンクスジャパンは平成20年5月にジャスダック証券取引所において上場廃止となりました。その後、平成20年6月にダイレックスを存続会社、サンクスジャパンを消滅会社とする吸収合併を行い、ダイレックスはサンクスジャパンの事業を承継し、九州地区、沖縄地区、中国地区及び四国地区においてディスカウントストアを136店（平成21年10月30日時点）運営しています。R C S F はMBO実施の際に金融スポンサーとしてダイレックスに出資し、優先株式（A種種類株式、B種種類株式、C種種類株式及びD種種類株式）を取得いたしました。

R C S F のダイレックスへの出資後、当社とR C S F はダイレックスと協議のうえ、企業価値向上のための支援を行ってきましたが、現在のダイレックスが置かれている事業環境、営業地域の競争環境等を踏まえると、ダイレックスの更なる成長のためには、ダイレックスが単独で事業を行っていくよりも、シナジーが見込まれる事業会社と提携することが必要であるとの判断に至り、ダイレックスと十分な協議のうえ、当社とR C S F は譲渡先選定プロセスを実施いたしました。

譲渡先選定プロセスにおいて、複数の譲渡先候補者と協議し、見込まれるシナジーや譲渡条件等を十分に検討し、ダイレックス、当社及びR C S F で協議した結果、複数いただいた提案の中から大手ドラッグストアチェーンであるサンドラッグの提案が最も優れており、サンドラッグと提携することがダイレックスの企業価値向上のためには最適であるとの判断に至りました。

当社とR C S F は、サンドラッグと協議し、R C S F 以外の個人株主が保有する普通株式とE種種類株式を当社が公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）で取得し、その後に、当社及びR C S F が保有するダイレックス株式全部をサンドラッグへ譲渡することで合意いたしました。当社が本公開買付けにより取得したダイレックス株式については、当社は本公開買付けの買付価格と同額でサンドラッグへ譲渡する予定です。

当社は、①当社がRCSFの運営者としてRCSF以外の株主（ダイレックスの役職員等）が保有する普通株式とE種種類株式を取り纏めることが本件株式譲渡の成立のために必要であること、②本件株式譲渡によりRCSFとして最大限のメリットを享受することができ、ひいてはRCSFの出資者及び運営管理者としての当社も最大限のメリットを享受することができることから、上記のとおり当社を買付者として本公開買付けを実施することを決定いたしました。なお、当社が実施いたします本公開買付けの概要については、本日公表しております「ダイレックス株式会社の株式に対する公開買付けに関するお知らせ」をご参照ください。

2. 本件株式譲渡の方法

本件株式譲渡に際しては、以下のステップで行います。

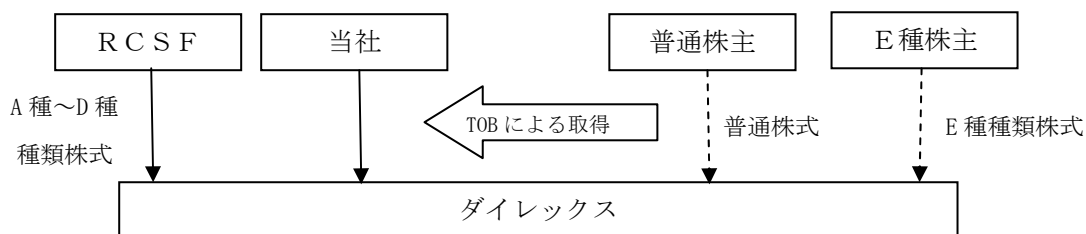
- ① 当社が、ダイレックスの発行済株式のうち、RCSFが保有する株式以外の普通株式全部とE種種類株式全部を取得することを目的として、ダイレックスに対する本公開買付けを実施いたします。本公開買付けに応募された株式の買付けに関しては、平成21年11月18日、ダイレックス取締役会において、本公開買付けの成立を条件として、それら株式の譲渡を承認する旨の決議がなされております。なお、当社は普通株式を保有する全株主とE種種類株式を保有する全株主から、その保有する株式全部について本公開買付けに応募する旨の承諾を得ております。
- ② 本公開買付けにより当社が取得した普通株式の全部とE種種類株式の全部及びRCSFが保有しているA種種類株式、B種種類株式、C種種類株式及びD種種類株式の全部をサンドラッグへ譲渡いたします。サンドラッグへの株式の譲渡に関しては、平成21年11月18日、ダイレックス取締役会において、本公開買付けの成立並びに上記当社普通株式及びE種種類株式の譲渡承認がなされることを条件として、それら株式の譲渡を承認する旨の決議がなされております。なお、サンドラッグへの譲渡は、本公開買付けの成立後のダイレックスの株主数が全部で25名未満となり、かつ、当該株主全員から公開買付手続によらずにサンドラッグへ譲渡することの同意書を当社及びRCSFが取得することを前提条件としております。

[本件株式譲渡ステップ図]

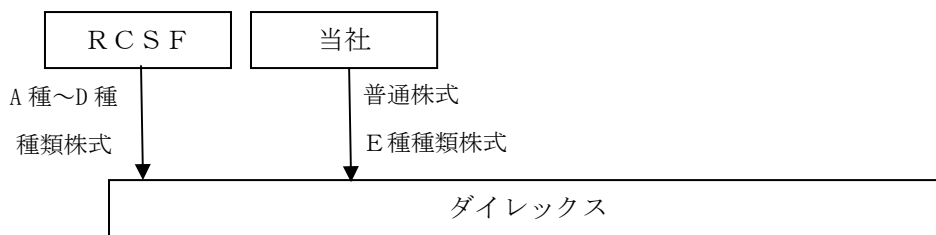
① 現在の状況



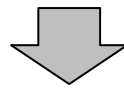
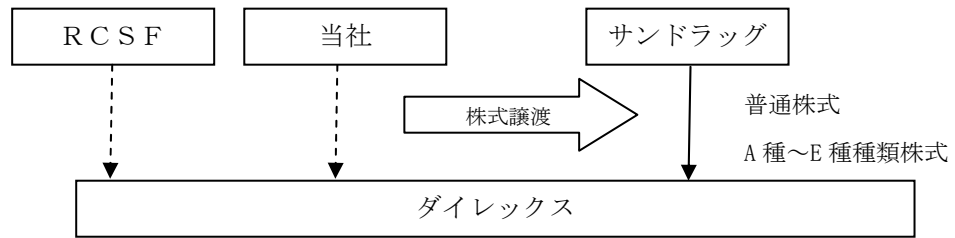
② 本公開買付けにより、当社が普通株式及びE種種類株式を取得



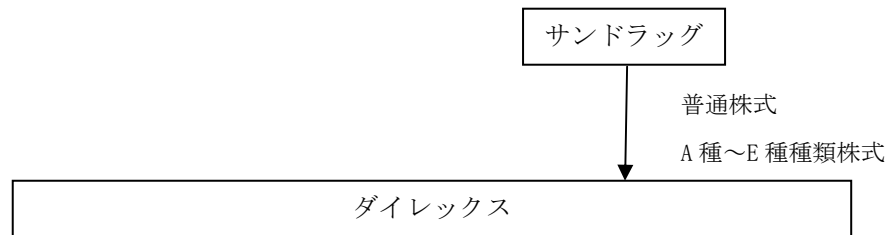
③ 本公開買付け成立直後の状況 (ダイレックスが当社の子会社になる。)



- ④ 当社及びR C S Fが保有する普通株式及び種類株式を全てサンドラッグへ譲渡する。



- ⑤ サンドラッグがダイレックスの全株式を保有する。
(ダイレックスがサンドラッグの子会社になる。)



3. 異動する子会社の概要

本公開買付けの成立により、ダイレックスは当社の子会社になります。その後速やかに、ダイレックスの全株式をサンドラッグへ譲渡しますので、譲渡実行に伴い当社の子会社に該当しなくなります。ダイレックスの概要は以下の通りです。

(1)	名 称	ダイレックス株式会社																				
(2)	所 在 地	佐賀県佐賀市高木瀬町大字長瀬 930 番地																				
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 大 鷲 秀 昭																				
(4)	事 業 内 容	ディスカウントストア事業																				
(5)	資 本 金	3,369 百万円																				
(6)	設 立 年 月 日	平成 19 年 7 月 9 日																				
(7)	大株主及び持株比率 (平成 21 年 8 月 20 日現在)	<table border="0"> <tr> <td>リサ・コーポレート・ソリューション・ファンド 投資事業有限責任組合 (A 種種類株式)</td> <td>32.17%</td> </tr> <tr> <td>リサ・コーポレート・ソリューション・ファンド 投資事業有限責任組合 (B 種種類株式)</td> <td>32.17%</td> </tr> <tr> <td>リサ・コーポレート・ソリューション・ファンド 投資事業有限責任組合 (C 種種類株式)</td> <td>32.17%</td> </tr> <tr> <td>西 直樹 (E 種種類株式)</td> <td>2.97%</td> </tr> <tr> <td>杉 繁 (E 種種類株式)</td> <td>0.21%</td> </tr> <tr> <td>大 鷲 秀 昭</td> <td>0.10%</td> </tr> <tr> <td>リサ・コーポレート・ソリューション・ファンド 投資事業有限責任組合 (D 種種類株式)</td> <td>0.07%</td> </tr> <tr> <td>新穂 芳昌</td> <td>0.06%</td> </tr> <tr> <td>山口 克己</td> <td>0.01%</td> </tr> <tr> <td>青木 伸</td> <td>0.01%</td> </tr> </table> <p>(注) ダイレックスは A 種種類株式、B 種種類株式、C 種種類株式及び E 種種類株式につき、平成 21 年 11 月 13 日付で 25 株を 1 株にする株式併合を行っております。</p>	リサ・コーポレート・ソリューション・ファンド 投資事業有限責任組合 (A 種種類株式)	32.17%	リサ・コーポレート・ソリューション・ファンド 投資事業有限責任組合 (B 種種類株式)	32.17%	リサ・コーポレート・ソリューション・ファンド 投資事業有限責任組合 (C 種種類株式)	32.17%	西 直樹 (E 種種類株式)	2.97%	杉 繁 (E 種種類株式)	0.21%	大 鷲 秀 昭	0.10%	リサ・コーポレート・ソリューション・ファンド 投資事業有限責任組合 (D 種種類株式)	0.07%	新穂 芳昌	0.06%	山口 克己	0.01%	青木 伸	0.01%
リサ・コーポレート・ソリューション・ファンド 投資事業有限責任組合 (A 種種類株式)	32.17%																					
リサ・コーポレート・ソリューション・ファンド 投資事業有限責任組合 (B 種種類株式)	32.17%																					
リサ・コーポレート・ソリューション・ファンド 投資事業有限責任組合 (C 種種類株式)	32.17%																					
西 直樹 (E 種種類株式)	2.97%																					
杉 繁 (E 種種類株式)	0.21%																					
大 鷲 秀 昭	0.10%																					
リサ・コーポレート・ソリューション・ファンド 投資事業有限責任組合 (D 種種類株式)	0.07%																					
新穂 芳昌	0.06%																					
山口 克己	0.01%																					
青木 伸	0.01%																					
(8)	当 社 と 当 該 会 社 と の 間 の 関 係	<table border="0"> <tr> <td>資 本 関 係</td> <td>当社と対象者との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社が特別関係者である R C S F は対象者の A 種種類株式 8,660 株、B 種種類株式 8,660 株、C 種種類株式 8,660 株及び D 種種類株式 500 株を保有しております。</td> </tr> <tr> <td>人 的 関 係</td> <td>当社の取締役 1 名が対象者の取締役を兼務しております。</td> </tr> <tr> <td>取 引 関 係</td> <td>当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会</td> </tr> </table>	資 本 関 係	当社と対象者との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社が特別関係者である R C S F は対象者の A 種種類株式 8,660 株、B 種種類株式 8,660 株、C 種種類株式 8,660 株及び D 種種類株式 500 株を保有しております。	人 的 関 係	当社の取締役 1 名が対象者の取締役を兼務しております。	取 引 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会														
	資 本 関 係	当社と対象者との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社が特別関係者である R C S F は対象者の A 種種類株式 8,660 株、B 種種類株式 8,660 株、C 種種類株式 8,660 株及び D 種種類株式 500 株を保有しております。																				
	人 的 関 係	当社の取締役 1 名が対象者の取締役を兼務しております。																				
取 引 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会																					

		社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき取引関係はありません。
--	--	----------------------------------

(9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態

決算期	平成19年2月期 (第19期)	平成20年2月期 (第20期)	平成21年2月期 (第2期)
連結純資産	10,486,788千円	11,034,535千円	8,988,674千円
連結総資産	28,374,068千円	27,880,969千円	30,182,112千円
1株当たり連結純資産	979.09円	1,044.12円	1,103,139.92円
連結売上高	80,894,181千円	86,284,722千円	89,683,232千円
連結営業利益	1,225,531千円	1,370,463千円	1,138,894千円
連結経常利益	1,338,181千円	1,620,854千円	1,242,059千円
連結当期純利益	710,681千円	841,587千円	2,626,676千円
1株当たり連結当期純利益	66.08円	79.47円	1,717,843.41円
1株当たり配当金	13.00円	13.00円	A種種類株式 126円 B種種類株式 126円 C種種類株式 126円 E種種類株式 121円

(注) ダイレックス(形式上の存続会社)は、平成20年6月21日にサンクスジャパン株式会社(実質的な存続会社)を吸収合併しております。このため、上記のうち、平成19年2月期及び平成20年2月期については、実質的な存続会社であるサンクスジャパン株式会社が平成19年5月18日及び平成20年5月19日にそれぞれ提出した第19期及び第20期有価証券報告書に基づいて作成しております。また、平成21年2月期については、ダイレックスが平成21年5月18日に提出した第2期有価証券報告書に基づいて作成しております。

4. 株式譲渡の相手先の概要

(1) 名 称	株式会社サンドラッグ	
(2) 所 在 地	東京都府中市若松町1-38-1	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 才津達郎	
(4) 事 業 内 容	薬局の経営並びに医薬品・化粧品・日用雑貨等の販売及び卸売	
(5) 資 本 金	3,931百万円	
(6) 設 立 年 月 日	昭和40年4月8日	
(7) 純 資 産	(連結) 65,681百万円(平成21年9月30日現在)	
(8) 総 資 産	(連結) 109,487百万円(平成21年9月30日現在)	
(9) 大株主及び持株比率 (平成21年9月30日現在)	株式会社イリュウ商事	39.74%
	シービーニューヨーク オービス ファンズ	10.34%
	シービーニューヨーク オービス エスアイシーアーヴィー	9.43%
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4.30%

	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	2.70%
	多田 直樹	2.40%
	多田 高志	1.64%
	オーエム04 エスエスビー クライアント オムニバス	1.38%
	資産管理サービス信託銀行株式会社（有価証券信託4口）	0.91%
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口9）	0.79%
(10) 当社と当該会社の関係	資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。
	人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。
	取引関係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき取引関係はありません。
	関連当事者への該当状況	当該会社は、当社の関連当事者には該当しません。また、当該会社の関係者及び関係会社は、当社の関連当事者には該当しません。

5. 取得株式数、譲渡株式数および取得前後・譲渡前後の所有株式の状況

(1) 取得前の所有株式数	当社	0株
	R C S F	A種種類株式 8,660株
		B種種類株式 8,660株
		C種種類株式 8,660株
		D種種類株式 500株
(2) 取得株式数	当社	普通株式 1,490株 (注)
		E種種類株式 856株 (注)
		(取得総額 771百万円)
(3) 取得後の所有株式数	当社	普通株式 1,490株 (注)
		E種種類株式 856株 (注)
	R C S F	A種種類株式 8,660株
		B種種類株式 8,660株
		C種種類株式 8,660株

		D種種類株式	500株
(4) 譲渡株式数	当社	普通株式	1,490株(注)
		E種種類株式	856株(注)
	RCSF	A種種類株式	8,660株
		B種種類株式	8,660株
		C種種類株式	8,660株
		D種種類株式	500株
		(譲渡総額)	9,500百万円)
(5) 譲渡後の所有株式数	当社	普通株式	0株
		E種種類株式	0株
	RCSF	A種種類株式	0株
		B種種類株式	0株
		C種種類株式	0株
		D種種類株式	0株

(注) 本公開買付けによる最大取得数であり、本公開買付けの結果によっては、譲渡株式数は変動いたします。

6. 今後の日程

株式譲渡契約締結 : 平成21年11月18日
 公開買付期間 : 平成21年11月19日から12月17日まで(予定)
 公開買付け代金決済日 : 平成21年12月25日(予定)
 株式譲渡日 : 平成21年12月25日(予定)

7. 今後の見通し

本件株式譲渡が当社の連結業績に与える影響につきましては、詳細が判明次第お知らせいたします。

以上